

河合塾・大竹先生による

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第44回 「適当」は適当？

2015年入試に向けた問題集

「システム数学 2015年入試必修問題集 実戦 数学I・II・A・B 新課程用（啓林館／河合塾）」が、もう、出版されているのですね。今の高校2年生から新課程の入試を受けるのですから、当然の時期かもしれませんが（私はこのプロジェクトにはかかわっていないので全く知りませんでした。ちなみに、数学IIIも出ています）。

驚いたのは、

「別冊特集 **データの分析**」として、問題が20問も付いている

ことです。今回の学習指導要領の改訂の特徴の一つはこの分野が必修として入ったことです。そして、これまでにセンター試験でも大学入学試験でも一度も出題されていない分野ですから、受験生のみならず、私も、この別冊は参考にしたいと思いました。

そしてこうした問題がやがて出題者のこの分野の問題作成の目安となっていくのでしょうかね。

.....

さて、まだあまり勉強の進んでいない生徒たちに、

命題：「適当な自然数  $n$  に対して、 $\sqrt{n}$  は有理数となる。」

は正しいでしょうか？と問うと、実にいろいろな反応があります。

「自然数  $n$  をテキストを選んで、 $n=2$  とすると、 $\sqrt{n}=\sqrt{2}$  は無理数だから、誤りです。」「自然数  $n$  をテキストを選んでいいのだから、 $n=4$  とすると、 $\sqrt{n}=2$  となるので、この命題は真です。」「自然数  $n$  をテキストを選ぶのだから、 $\sqrt{n}$  は有理数にも無理数にもなるので、こんなの変です。」

.....

.....

「適当な〇〇に対して」とは

「うまく〇〇を選べば」とか「〇〇が存在して」というような意味

で使われますが、生徒たちが、現代の日常生活で使われる「適当に」の

「いい加減に」という意味

ととらえると、「思いついたどんなものを選んで」（これでは、「任意の」ですね）いいと誤解されかねません。私も、講義の際には「適当な  $n$  が存在して」など、無反省に使っていますが、初学者には、慣れるまでは何度も何度も注意を喚起しながら使わないといけないのですね。「大切なことは何度でも繰り返す」という大原則を忘れないようにしながら...

.....

数学用語の「適当」は、日常の「テキスト」とは違い、むしろ

「適切」という意味合い

というのでもいいかもしれません。あるいは「ある」という言い換えのほうが誤解が少ないかもしれません。しかしいずれの言葉も正しく理解して正しく使えることが入試対策としては求められます。



「適当」という言葉は元来、その字の如く「適した、ふさわしい」という意味でした。数学用語の「適当」はこの意味を保っているのです。

数学は正しく言葉の文化を伝承している

のですね。素晴らしいことだと思います。

学校法人河合塾 開発研究職 数学科講師 大竹真一